

むくのきだより 12月号



令和5年11月30日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

劇遊びの中で ～友達との関わりで学ぶ～

園長 中村 美奈子

11月、赤羽小学校の1年生から秋フェスタの招待状が届き、赤羽幼稚園の子供たちが参加しました。ドングリの迷路屋さんやアクセサリー屋さん、ドングリ劇場もありました。ドングリのお金で、遊んだり、買い物をしたりしました。お店屋さんの1年生とお客さんの園児と、言葉のやり取りをしながら、楽しい時間を過ごしました。

今、赤羽幼稚園の遊戯室に、大きなカバンやおなべなど、いろいろなものが並んでいます。これらは、子供たちが劇遊びの中で作ったものです。どの役がいいかな、どんな言葉を使うといいかな、どんなものを作るといいかななど、子供たちが言葉のやり取りをしながら楽しそうに劇遊びをしています。「それ、いいね！」と共感してもらえたり、みんなでイメージしたことが形になる達成感を味わったりするのは、友達と一緒に何かをしてこそ経験できます。友達と関わる中で、自分の思いが伝わらないことや、思いがすれ違ってけんかになることもありますが、周りの友達や大人の力も借りながら自分で乗り越えていくことにより、子供は学んでいきます。そのことが、自分や相手のよさを認め合い、高め合う人間関係をつくることにつながるるとともに、人権尊重の精神に通じるものとなると考えます。これからも、友達と関わる場を大切にして、子供たちを育てていきます。

ムクノキの剪定について

園歌にある「むくのき たかいき おおきなき」とあるムクノキは、旧赤羽幼稚園・小学校の敷地にある大木です。旧小学校講堂・体育館の横にあり、保存樹林として、グラウンドや赤羽幼稚園新園舎の建設後もそのまま残す予定で工事が進められています。今回、幹に大きな空洞があり、台風や積雪等により倒木の危険が高いことが判明しました。そこで、樹木医・港区担当者と相談し、樹高を低減させ、支柱等を設置し、土壌改良を行うなど、倒木を防ぐ措置をすることを決定しました。つきましては、11月末に現在20m程度あるムクノキを12m程度まで剪定します。そして、1～2月に支柱の設置と土壌改良を行います。約10年後には、現在のような高さまで生長し、たくさんの葉を茂らせるのではないかとということです。ご理解のほどよろしく願いいたします。

「誰か」のこと じゃない。



人権週間

12月4日～10日

12月4日～10日は、「人権週間」です。

12月には人権に関する大きな取組があります。それは、「人権デー」と「人権週間」です。

私たちは皆、自分の存在と尊厳が守られ、自由に幸せを追い求めることのできる権利「人権」を持っています。

しかし、いじめや虐待など、他者の人権を考えないような問題が後を絶ちません。私たちは家庭や地域、職場、学校などで多くの人と関わり合いをもって生きています。その中で、一人一人が自分らしく、他の人たちとともに皆が幸せに生きていくためには、互いの個性を尊重し、認め合うことが必要です。そして、誰もが幸せに暮らせるよう、互いを思いやり、生活習慣・文化・価値観などの多様性や人権を尊重する社会を築いていくことが大切です。

そこで、法務省と全国人権擁護委員連合会が、毎年12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を「人権週間」と定めています。今年度の「第74回人権週間」では、啓発活動重点目標を「誰かのことじゃない」として、様々な活動が行われます。港区においても、12月8日に記念講演と映画のつどいがあります。

赤羽幼稚園においても、友達の気持ちを考え、互いを認め合える機会を積極的につくり、互いの個性を尊重し、認め合うことができるようにしていきたいと思います。